

事務連絡  
平成25年11月21日

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。  
麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム・カテナータムが最大で10細胞/ml、アレキサンドリウム属が最大で3細胞/ml確認されました。

海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

調査時間 (8:00-9:00)	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	ギムノディニウム・ カテナータム	アレキサンドリウム属
採集地点	(m)	(°C)	(psu)	(mg/l)	*1	*2	*2
ヒロウラ 別図① 透明度 7.0m	0	17.3	32.1	7.71	0	0	0
	5	19.4	33.1	7.24	0	0	0
	10	20.2	33.5	6.92	0	0	0
一切田 別図② 透明度 8.5m	0	19.5	33.4	7.28	0	0	0
	5	19.6	33.4	7.14	0	8	0
	10	19.6	33.4	7.06	0	10	0
宿毛湾中央 別図③ 透明度 11.0m	0	20.0	33.6	6.98	0	0	0
	5	20.1	33.6	6.73	0	0	3
	10	20.1	33.6	6.66	0	0	0

\*1：魚類に対して被害のある種

\*2：麻痺性貝毒の原因種

\*3：下痢性貝毒の原因種

<別図>

